

1 本調査について

新型コロナ時の実績をもとに新興感染症発生時に対応できる見込み数字を調査するものです。

対応できる見込みがあるが、数値を答えることが難しい場合は、新型コロナ時の数字を基本にお答えください。

2 医療機関名等

医療機関名、保険医療機関番号(14から始まる 10 桁)、医療機関の情報を御記入ください。

3 新型コロナ対応の実績確認

病床確保※、発熱外来、自宅療養者等への医療の提供、後方支援、人材派遣の各項目について、参考欄に入力いただく新型コロナ対応の際の実績を踏まえて御回答ください。※確保病床の実績がある病院には別途参考数字を送付しています。

例:確保病床について

令和3年4月 協定確保病床数 20床(うち重症5床)の病院の場合
⇒流行初期 確保病床欄は、20床(うち重症5床)を基本にそれより対応可能な病床が多い場合は増やして入力する(例:確保病床22床(うち重症5床))

例:発熱外来について

令和4年12月 発熱外来対応実績 10人/日 検査 10件/日の病院の場合
⇒流行初期以降 見込数欄は、発熱外来対応実績 10人/日 検査 10件/日を基本にそれより対応可能な件数が少ない場合は減らして入力する(発熱外来 8人/日 検査 8件/日)

4 記入に際しての留意事項

数字入力欄は必須項目のため、対応できない場合や不明な場合の数字入力欄は0で入力ください。

数字は整数でご回答ください。小数点以下は四捨五入、切り捨て等、医療機関の判断でより実態に近い数でご回答ください。

実績欄で不明な場合はおおよその推定値を入力ください。

5 個人防護具の備蓄

自院での個人防護具(サージカルマスク、N95マスク、アイソレーションガウン、フェイスシールド及び非滅菌手袋)の備蓄の予定がある場合、備蓄予定の月数及び備蓄予定枚数について、御回答ください。

G-MIS週次調査により判明した規模別・物資別の平均消費量(令和3年度及び令和4年度平均値)は以下のとおりですので、必要に応じて参考にしてください。

< 1 病院当たりの個人防護具の2ヶ月想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーションガウン	フェイスシールド	非滅菌手袋
200床未満	8796枚	466枚	1255枚	509枚	67754枚
200～399床	27376枚	1606枚	5002枚	1789枚	196354枚
400～599床	42278枚	3321枚	7033枚	4189枚	447054枚
600～799床	69483枚	5150枚	12060枚	6366枚	760996枚
800～999床	129290枚	7501枚	14865枚	13116枚	1210304枚
1,000床以上	132518枚	11244枚	41807枚	24221枚	1453840枚

< 1 診療所当たりの個人防護具の2ヶ月想定消費量 (全国平均) >

	サージカルマスク	N95・DS 2マスク	アイソレーションガウン	フェイスシールド	非滅菌手袋
病床なし	674枚	55枚	149枚	98枚	2,332枚
病床あり	1,370枚	57枚	165枚	114枚	5,668枚

※ 「感染症法に基づく「医療措置協定」締結等のガイドライン」について記載の全国平均より